

卒業生による

講演会

中一・二対象

令和三年十二月十六日

日本伝統文化鑑賞会



十二月十六日に、中学二年生・三年生を対象に「日本伝統文化鑑賞会」が行われました。本来は天満天神繁昌亭などで中学二年生が校外学習として鑑賞するのですが、コロナ禍の影響で、佐藤講堂にお迎えする形での実施となりました。

午前は「落語」の鑑賞です。落語入門を解説していただいた後、本校十九期生の落語家、林家染雀さんの落語と桂あやめさんの落語を聞きました。馴染みやすい題材であつたこともあり、夢中に聞き入っている生徒たちの姿が印象的でした。そして、「寄席囃子解説」として落語に用いられる太鼓を演奏すると、いう貴重な体験の後、松旭齋天蝶さんの「浮かれの蝶」を鑑賞しました。生で見る落語や手品に魅了され、生徒たちも充実した時間を過ごしたことと思います。

午後は、本校美術科教員で狂言師でもある安東睦郎先生を中心とした「狂言」を鑑賞しました。講堂に響く演者の声と狂言ながらではの言葉遣いや所作に生徒たちも感銘を受けました。実際に使用するお面をかぶらせてもらう貴重な体験もできました。

今回の鑑賞会では、意識をもち、「自分はどんな職業に興味関

原島敏郎氏（本校七期生）による中学三年生を対象とした進路講演会が令和四年二月二十二日（火）に行われた。

まず「自分の将来は自分で作る」という

原島敏郎氏（七期生）

原島敏郎氏（七期生）